

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日 平成 25 年 10 月 10 日			
所属学部・研究科	経済学部 3 年次 (留学開始時点)			
留学先大学	マンチェスター大学 (国名:イギリス)			
所属学部・学科等名	Business(undergraduate)			
在籍身分	University-wide Exchange Student			
留学期間	平成 24 年 9 月 9 日～平成 25 年 6 月 15 日			
1. 渡航について				
ビザについて	ビザの種類: Tier4 Visa(student)			
	ビザ申請先: UKBA			
	取得方法, 提出書類: インターネット上でUKBAのオフィスに面接を予約→書類2枚 (VAF 8と Appendix 9) ・証明写真・TOEFL/IELTSスコア等を持参し、審査してもらう。事前にマンチェスター大学からのCASナンバーが必要。			
	手続きに要した日数: 30 日 (早めにやったほうがよい)			
その他必要な事前手続き				
出国年月日	平成 24 年 9 月 9 日			
経路	福岡→上海→ロンドン→(電車)→マンチェスター			
現地での出迎え	無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	授業の履修方法・安全に生活するためのレクチャーなど。3日間。			
帰国年月日	平成 25 年 6 月 15 日			
経路	マンチェスター→(電車)→ロンドン→ローマ→関空			
2. 留学経費について				
所要経費	総額	100万～110万	円	
	内訳	渡航費	15万	円
		保険料	10万	円
		教科書代(学費)	0	円
		宿舍費	50万	円
		食費	10万	円
		その他 (交際・旅行費) (費) (費)	15万～25万	円 円 円
3. 授業について				
2012年 1学期	9月2週目 ～ 1月4週目			

2012年 2学期	1月4週目	～	6月	1週目
年 学期	月	日	～	月 日
年 学期	月	日	～	月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	大体は講義とセミナーを両方受講する形になる。			
単位互換希望の有無	<input type="checkbox"/> 有			
学術面に関する後輩へのアドバイス	特になし			
4. 生活等について				
(1) 留学先の住居について				
住居の種類	<input type="checkbox"/> 大学の寮			
住居の広さ	約	m ²	同居人の有無	<input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 水洗便所 <input type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ()			
住居費	1ヶ月当たり	400ポンド	(現地通貨)	約 6万 円
住居を決定した方法	<input type="checkbox"/> 留学先大学の紹介			
留学先での住居全般に関するアドバイス	大学寮を選ぶほうが安全です。			
(2) 医療について				
1日以上入院を要する 病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> しなかった			
入院した場合	により 日入院			
留学に当たり保険を	<input type="checkbox"/> 掛けた			
掛けた場合	<input type="checkbox"/> 日本			
掛け金は	年間	約10万	円	
	補償額	死亡	円, 入院1日	円
	その他 ()			
留学前後での予防接種の必要の有無	<input type="checkbox"/> 無			
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名				
日常的な健康について不安が	<input type="checkbox"/> なかった			
留学先国の医療事情 (日本と比較して)				

留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと	特になし	
(3) 危険を感じた地域, 状況		
細い路地には入らないように。Moss side という地域は危険です。		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
Megabus でロンドンまで往復10ポンドでいけます。 電車で旅行するなら Rail Card を作りましょう。		
5. 帰国後の進路について		
卒業予定年月	平成 27 年 3 月	(当初の卒業予定年月 平成 26 年 3 月)
卒業が遅れる見込みの場合, その理由	<input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため	
現在の状況および今後の予定・進路等	未定	
就職活動や留学前の単位取得, 教育実習等についての工夫	特になし	
6. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等		
書籍, サイト名	詳細 (出版社, URL 等)	コメント
7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)		

学習の概要に関するレポート

マンチェスター大学での勉強についてレポートします。マンチェスター大学では、<http://www.manchester.ac.uk/international/studyabroadandexchanges/studyabroad/course/courseunitsubjectlist/>の Subject List から取りたい講義を選ぶことになります。講義を取る際には、事前に得ておかなければならないスキルやとっておかなければならない講義が指定されていることがあるので、留意してください。

□単位について

マンチェスター大学では1年に120単位をとることが求められます。1つの講義が10単位、もしくは20単位なので、さほど難しいわけではありません。1年は2つのセメスターにわかれているので、1セメスターに60単位ずつとることになります。なので、1学期に3から6個の講義をとることになります。成績評価のやり方も違います。全体の70パーセント以上の点数をとると、**First** という日本における秀の評価。60パーセント以上で **Second First** と呼ばれる優の評価、50パーセント以上で **Second Second** と呼ばれる良の評価、40パーセント以上で **Third** といわれる可の評価です。40パーセント以上とれば単位がでます。つまり楽です。

□講義について

1つの講義をとると、まあ大体の場合、毎週1回ずつレクチャー（座学）とチュートリアル（ゼミ）の両方に参加しなければなりません。レクチャーは大人数で講義を聞く感じで、日本のものと大して変わらないものです。大体1コマ1時間半から2時間です。ただ、発言などは活発に飛び交う点は日本ではあまりないかもしれません。チュートリアルは、小さいグループに別れてレクチャーでやった内容について発表をしたり議論をしたりするものです。大体は先生1人に対して生徒10人くらいの人数で1時間行われます。

□試験について

試験は広島大学のそれよりも厳格に行われます。当たり前のことですが、遅刻や欠席をした場合は再試験などもなく取り返しのつかないことになるので、気をつけましょう。カンニング等も厳しく処罰されるので、気をつけましょう。シャーペンや鉛筆は使用禁止で、必ずボールペンでかかないといけないので、注意してください。

□レポートについて

レポートの提出についてもとても厳格です。締切期限に1分でも遅れると提出できない、もしくは10パーセントの減点になったりします（実際に10秒おくただけで減点されました。）。気をつけましょう。また、盗用などについてもとても厳しく、もし発覚した場合にはこの上ないほど厳しい処分が下されますので、注意しましょう。

生活の概要についてのレポート

マンチェスターはイギリスで2番目か3番目に大きい都市です。なので、基本的に生活に不自由することはありません。マンチェスターでの生活において知っておいたほうがいいであろうことを、食生活・インフラ・医療に分けて、説明していきます。

□食生活

食糧物価は、モノにもよりますが、野菜などは日本より安価、肉は日本より高価な印象です。特にじゃがいもとかバナナなんかはものすごく安いので、食費は削ろうと思えば削りまくることができます。イギリスでは食料品に対してVAT（消費税）の軽減税率が敷かれているため、生活必需品系の食料品はものすごく安いです。スーパーにも高いスーパーと安いスーパーがあります。高いスーパーは、Sainsbury's、Waitrose など。ふつうのものはMorrisons、Tesco など。安いものはLidl、Aldi、Asda などです。ですがその代り外食にはべらぼうに高い税金がかかっているため、まあ大概外食をすると日本より高いです。そこら辺にあるファーストフード店のフィッシュ&チップスとかケバブとかチキンは比較的安価でおいしいので、食べるとして損はないですよ。世界中の国の料理が気軽に食べられるのもマンチェスターの特徴なので、ぜひ楽しんでみてください。

□インフラ

マンチェスターはバス網がとても発達しています。なので、バス（2階建てのやつ）で移動することが多いと思われます。サッカーを見に行くときとか市の中心部に行くときはバスが便利です。ちなみに大学周辺には147という無料バスが、市の中心部にはMetro Shuttleという無料バスが走っています。大きいショッピングモールには、Arndale、Traford Centre などがあります。夜に一人で出歩くと危険なので、夜の独り歩きは避けましょう。公園では殺人事件も起きましたので、絶対に夜の公園とかには入らない方向をお願いします。マンチェスターの外に出る際は、高速バスと電車が便利です。高速バスはMegabusが安いです、電車を使う際はRail Cardを事前購入しましょう。国外旅行をする際は飛行機が便利です。マンチェスター空港は大きいし大学から遠くないので重宝します。LCC（Ryanair、Easyjetなど）も発着陸しているので、海外旅行にも果敢にチャレンジしましょう。

□医療

イギリスにはGPというかかりつけ医制度があり、GPの病院に診察に行くのはなんと無料です。大体は学期のはじめにGPの医者が寮か大学まで来ますので、その時に登録を済ませましょう。予約制なので、突然行くと待たされます。予約をしましょう。

